

# やまと

広報

9 月号

2020 No. 271

## 特集 大和村 戦禍の記憶

06-07 農業委員と最適化推進委員が決まりました、私たちの健康

08-13 シマの話題、コラム、お知らせ

14-15 わんきゃのSDGs っちば、島の宝 ほか

表紙：今里での追い込み漁（詳細は8ページ）

# 大和村 戦禍の記憶



当時空襲に使用されたグラマン機

1941年（昭和16年）12月に始まり、1945年（昭和20年）8月に終戦を迎えた太平洋戦争は、たった4年の間で世界に大きな傷を残しました。農業と漁業を中心に素朴な生活を営んでいた大和村にも、終戦近くなると米軍機が頻りに訪れ、空襲があり、たくさんの尊い命が失われました。

戦後75年、当時を知る人が減っていく中、もう一度当時を振り返り、戦争の悲惨さや、平和への願いを身近に感じたいと思います。



## 戦争体験インタビュー

※文章は、話口調をですます調にして、内容の順番など編集しています。

### 【大和浜】玉利龍吉さん（88） 終戦当時13才

**大和浜集落が**  
一日でほぼ全焼した学校では勉強をほとんどしませんでした。米軍が上陸したら竹やりで刺し殺す練習をしました。先をとがらせた竹やりで藁人形を突くという、そんなもので殺せるはずがないのですが。  
集落への空襲がひどくなってきたので、それぞれの畑や山に小屋を作って、そこに避難をしました。大和ダムの下流にある畑の小屋で少なくとも1〜2年は生活しました。  
ある日の空襲で大和浜の集落が2〜3軒を残してみんな焼きました。焼けている間も飛行機が飛んでいて、疎開小屋から出る訳にもいかず監視の方が帰ってきて「大和浜は全焼したよ」というとみんな泣きました。  
避難小屋のちようど上空が焼夷弾とか機銃するために集落に向けて低空飛行する場所

だったので薬きょうが落ちてきて怖かったです。操縦しているアメリカ兵が標的を狙うところも見えました。  
戦時中は、芋、木の実、サイ（川の小さいエビ）、田んぼのウナギなどお腹を膨らますものはなんでも食べました。  
終戦して翌年から高等科に行っていたけど、校舎も校庭も爆弾が落ちて大きな穴が開いていたので埋める作業から始めました。学校は湯灣釜の山の材木を降ろす仕事を受けて、我々は何度も山と港を往復してそのお金でバレーボールをひとつ買ったけど一回も使わず卒業してしまいました。  
当時18歳くらいまでの方は志願して戦争に行ったから、戦死したりすると本当に気の毒でした。なぜ戦争なんかしたのかなと思うし、二度と戦争はやっちゃいけないと痛感します。

## 大和村戦没者追悼式

大和村では毎年終戦の日に戦没者追悼式を行っています。戦没者遺族の高齢化が進み、参加人数が減ってきてはいるものの、戦争を振り返り、戦没者の冥福を祈るこの式典は、平和を希求する大切な機会となっています。

大和村出身の戦没者	
陸軍	146名
海軍	53名
軍属	22名
女子挺身隊	8名
合計	229名



### 【国直】中マサ子さん（83） 終戦当時8才

**母親がどんなに苦労**  
して育ててくれたか  
まだ小さかったからあまり詳しく覚えてないけど、家の近くに防空壕が掘ってあり、米軍機が家の上空をブーンと何回も飛んでくるから「早く避難せい！」といわれ急いで避難したのを覚えています。

父親は自分が3才くらいに亡くなったし、祖父母もいなかったたので、空襲が激しくなってきた頃、母と兄弟4人で川の上流の山の中に疎開小屋を作って数カ月暮らししました。屋根はガヤ、床は板とムシ口だったかな。トイレは大きい穴を掘って小屋を建ててお風呂はドラム缶の五右衛門風呂。どうやって建てたか今でもわかりません。母は「山に爆弾落されたらどうしようか」と言っていました。

集落は危険で戻れないから畑を作って野菜や芋を育て、自給自足でした。どこにも



行けないし、友達も避難しているから遊ぶ人もいない、いつも一人で川で遊んでいます。川ではタナガヤサイ、貝、椎の実などをとっていました。親は子どもに食べさせるのが大変で、食べるものがなかったのになんか焼けたらいいな、大きくなったんだらうと思えます。  
国直に爆弾が落ちて火事になり、大人たちは消火のため山を下りていきましたが、当時は家が密集しており集落の半分くらいが焼けました。  
母親の苦労を考えたら、どんな苦労をして育てたかと思えます。集落中、みんな自分たちの家族が生きているか死ぬかで精いっぱいでした。

### 【大柵】奥田清之助さん（88） 終戦当時13才

**集落が燃えていくのを**  
山の上から見ている

戦争が始まった頃、飛んでいた飛行機を日本の飛行機だと思っただけに集まって万歳したら、実は米軍機で機銃されたことがありました。幸い亡くなった人はいませんでした。  
学校は目立って標的になるので、高倉を墓地の裏から山の下の田んぼの方に移動させて、その下で勉強しました。  
空襲が激しくなるとウシンチャ（毛陣側の山）に疎開小屋を作って暮らしました。山の上だから水がなく、シマからバケツ2つに水を入れて棒で担いで登ったのは難儀でした。煙も出せないから朝早く薪でご飯を炊きました。飛行機が来ないときに農作業して米と芋を作っていました。



大柵が全焼した時の空襲を山の上から見っていました。焼きたったので薬きょうが落ちてきて怖かったです。操縦しているアメリカ兵が標的を狙うところも見えました。  
戦時中は、芋、木の実、サイ（川の小さいエビ）、田んぼのウナギなどお腹を膨らますものはなんでも食べました。  
終戦して翌年から高等科に行っていたけど、校舎も校庭も爆弾が落ちて大きな穴が開いていたので埋める作業から始めました。学校は湯灣釜の山の材木を降ろす仕事を受けて、我々は何度も山と港を往復してそのお金でバレーボールをひとつ買ったけど一回も使わず卒業してしまいました。  
当時18歳くらいまでの方は志願して戦争に行ったから、戦死したりすると本当に気の毒でした。なぜ戦争なんかしたのかなと思うし、二度と戦争はやっちゃいけないと痛感します。

終戦後、山で材木を切って削って、牛にひかせて小さな家を建てました。3軒造り直し今の家になりました。何もかも自分で作って食べて、そんな暮らしでした。

昭和19年の大柵集落

昭和14年 思勝男子青年学校で竹やり訓練



【名音】

福山モトメさん (89)

終戦当時14才

今でも何も粗末に

したくない

名音生まれ名音育ちの8人兄弟、小学校1年生の時から避難の練習や軍歌を習い、戦争の準備は始まっていました。昭和14年ごろから毎日戦争のうわさがありました。

まだテラの下に防空壕があるかな？そこはお年寄りが避難して、火事があったら上から水をかけて火を消すためでした。空襲がひどくなると集落民は水があると頼って山のあちこちに散らばって疎開小屋をつくりました。食べるものがなくて貧しかったから、今でも何も粗末にしたくないです。物を大切に使い、食べ物も粗末にしません。

名音はうち（園田商店付近）や生活館から山側が全部火事で燃えました。学校へ落ちた焼夷弾が燃え移ったんですね。うちの床下へ

は今でも黒くなっています。名音トンネルの上の尾根（徳浜近く）には警防団が4〜5人ずつ待機し飛行機の爆音がしたら通信本部に連絡する見晴台がありました。港で兵隊を送ったりもしました。もう帰ってこれないと呑んでぐでんぐでんになった男性を船に乗せているのを見ました。戦時中はほぼ学校に行かなくてたけど、終戦後はお寺などに集まって勉強しました。勉強が大事だからと親も子どもも田んぼに何回も砂を運び入れて、学校の敷地になりました。新しい本は買えないので先輩たちの本を譲り合いました。妹の教科書は防空壕で雨に濡れてしまったので私がひらがなで写してあげました。戦争はどんなことがあってもし



対馬丸の惨劇 大和村にも子どもらの遺体が漂着

1944年8月22日、疎開のため沖縄から九州へ向かっていた対馬丸が悪石島沖でアメリカの潜水艦の攻撃を受けて撃沈。学童780人を含む1480人余りが犠牲となりました。一週間後、大和村にも犠牲者の遺体と、わずかな生存者が漂着。戦時中で男手が少ない中、戸円、名音、今里では消防団員や青年団員などが遺体の埋葬・供養などを行いました。遺体の痛みや匂いがひどかったため、配給物資の焼酎を口に含みながら作業したそうです。遺体の漂着は戸円4名、名音長浜18名、今里4名でした。今里には生存者が4名漂着しました。

戦時中の4年間が

学生時代

【戸円】朝山信子さん (90) 終戦当時15才

昭和16年の真珠湾攻撃から、尋常小学校が国民学校になりました。勉強はせず野菜や芋を作っていました。朝礼で「爆弾！」という目と耳を隠して伏せる練習をしました。先生たちも真剣でした。高等科からなぎなたの稽古があり、私たちが卒業してから竹やりの練習に変わりました。教育というものは怖いものですね。登校すると校門と奉安殿の前で頭下げて校舎に入っていました。修身という道徳のような授業があつて天皇を敬う内容を勉強しました。天長節や紀元節などの歌を覚えています。空襲から逃げるために疎開小屋がありました。第一小屋は田んぼのところ、第二が川の上流、



そして第三は福元に行く途中でアメリカ兵が来たら竹やりで攻撃するために道の両脇に穴を作っていました。

戸円は空襲を2回受け、疎開小屋に焼夷弾が落ちたことがありました。小屋はバラバラで、朝ごはんのおかゆに破片がいっぱい入っていたのが印象的です。今の篠原商店の山側の民家に防衛隊という男の人たちがいて、火事になったところは消してくれました。また、米軍機が戸円の海に墜落して、水上飛行機が迎えにきたことがありました。「アメリカは感心だね」って木に登って見物していました。

旧暦の九日は学校で嶺山公園に兵隊の安全を拝みにいきました。兵隊を送り出す時も嶺山まで送りに行きます。嶺山の帰りに歌なんか歌いながら崖の下を見たら今の展望台の下あたりに頭と腕と胸がソテツみたいに浮いていました。沖縄から疎開する船が沈没したんですね。とても怖くて見にいけなかったです。

【今里】安原フミさん (91) 終戦当時16才

昼は竹やりの練習

夜は疎開小屋

国民学校は5年生の夏休みから行かないで、妹たちの子守をしていました。卒業してからは、昼は竹やりの練習、夜は疎開小屋（宇検村方面の山中）まで歩いて行って寝ていました。昼や味噌の入ったカメを背負っていったこともありません。うちは田んぼがなかったから米が食べられず、朝は芋2つと味噌、昼も芋2つと味噌、夜はソテツの実と芋のおかゆを食べました。

飛行機はいつも宇検村のほうから飛んできました。爆弾が体に当たったおじさんは、飛び散って何もなくなりました。何も残らなかつたので、家にあった洋服やズボンなどで葬式をしていました。他に5〜6人が爆弾で亡くなった時のことをよく覚えています。お母さんが二人の子どもを抱えて亡くなり、一番小さい子で5歳くらいでした。

沖繩に向かう特攻隊が今里に不時着

ある日、妹をおぶって海に行ったら4〜5年生くらいの男の子が波打ち際にうつ伏せでゆらゆらしていました。びっくりして区長さんに知らせにきました。対馬丸の漂流者で首には「玉城」と書かれた札が下がっていたのが印象に残っています。

昭和20年5月26日の午前中、アメリカ兵が上陸した時のために、公民館で竹やりを米俵に突き刺す練習をしていたら、飛行機が集落奥の川に不時着し、区長さんが「アメリカの戦闘機が落ちたから竹やりをもつて集まれー！」と叫びました。一歳下のミキエさんと向かうと飛行機はバラバラで、ガソリンでビショビショ、赤くただれ酷いやけどをしている若い日本兵が立っていて「お父さん、お母さん、自分もうちこんなになってしまった」

と涙をポロポロ流してました。この風景は一生忘れることができせん。あの兄ちゃんには本当に可哀そうでした。区長さんの指示で担架とカシヤの葉を取りに行つて、担架にカシヤの葉を敷きました。集落には若い人がおらずパンツがないので区長さんが「自分の」フンドシもつてこい！と言つて、男性たちが着替えさせ、担架で区長さんの家に運びました。その日は眠れませんでした。

私は炊事場を手伝ったり、おかゆを食べさせたりしました。その兄ちゃんは数日介護を受けた後、軍司令部のある古仁屋に運ばれていきました。



戦後、奄美はアメリカの占領地となり、日本への復帰運動を経て、ようやく戦後復興が始まりました。激動の時代を懸命に生き抜き、今日の大和村を築き上げた先人に感謝すると共に、平和を求め続ける気持ちを忘れないでいたいですね。

←当時、軍人に配布された軍隊手帳

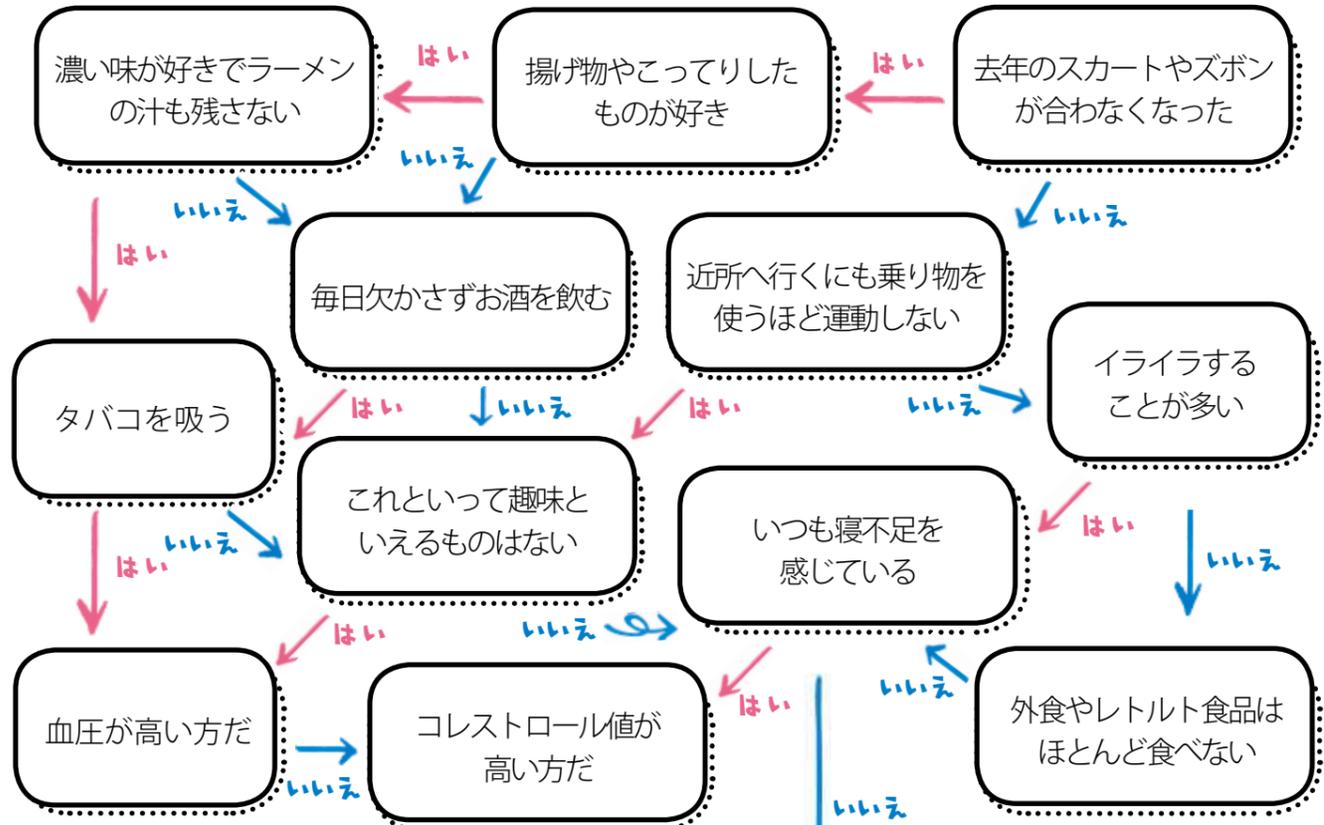
# 私たちの健康

近年の医療状況や健診結果から大和村民の健康状態について、みなさんと一緒に考えていきます。

前号、大和村では血管がつまる病気で亡くなる人が多いことが分かりました。それでは血管を詰まらせないためにはどうしたらいいのでしょうか？

## まずは自分の血管年齢を知ろう！ 血管年齢チェックテスト

スタート



### 血管年齢 80代以上

動脈硬化が進行している。明日にも血管病の発作を起こし、倒れても不思議ではない状態。喫煙者はただちに禁煙すべきレベル。

### 血管年齢 60～70代

血管がかなり老化している。動脈硬化が進んでいる可能性が大であり、放置すると数年後に深刻な血管病を起こす恐れも。

### 血管年齢 40～50代

血管の老化が進行している可能性がある。血管を若く保つケアが必要。

### 血管年齢 20～30代

まだ若々しく、しなやかで健康的な血管状態。

考案者：元自治医科大学付属病院院長 島田和幸医師  
出典：2012年11月24日号 週刊現代

## よく聞くあるある勘違い

アルコールを飲むと  
ばい菌をやっつけるもんね～



おしっこ行きたくなるから  
水分ひかえるもんね～

栄養ドリンクは栄養だから  
いくらもんでも体にいいもんね～



電子タバコは害が少ないから  
吸っても大丈夫だもんね～

次号、どうしたら血管年齢を改善できるのか！

## 新しい農業委員と最適化推進委員が決まりました！

### 農業委員会とは？

各市町村に置かれる行政機関で、農業生産力の向上と農業経営の合理化を図り、農民の地位向上に寄与することを目的としています。また、農地に関する事務、農地の利用状況調査（農地パトロール）を行っています。

農業委員と農地利用最適化推進委員が一体となり、大和村の農業振興のために活動しておりますので、皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします！

### 主な仕事は？

- ・農地の無断転用の監視
- ・農地の売買の許可
- ・農地の貸借の許可
- ・農地転用案件のチェック
- ・農地の調査、指導
- ・農業の担い手確保 等々

会長 勝 三千也さん 名音・今里・志戸勘担当	会長職務代理 藤村 秀久さん 津名久・思勝担当	玉野 公和さん 大棚担当	重 照代さん 国直・湯湾釜担当	上村 太一さん 大金久担当	農地利用最適化推進委員 泉 富保さん 大和浜担当	坂元 龍馬さん 戸円担当
------------------------------	-------------------------------	-----------------	--------------------	------------------	--------------------------------	-----------------

# 絶対に特殊詐欺を許さない！

SOS47プロジェクトチーム

大切な家族や友人を守るために何ができるのか、話し合ってみてください。

「家族の絆で勝つ！」ストップオレオレ詐欺。

不審な電話は、警察に連絡を。SOS47

## 令和2年全国地域安全運動

10月11日（日）から10月20日（火）まで

### 【奄美警察署からお願い】

不審な電話は、すぐに家族、友人、警察に電話して下さい。

電話を留守番電話設定にしておくなどの工夫をして被害防止に努めましょう。

奄美警察署 電話 0997-53-0110

### ～家族の絆で犯人撃退～

普段の家族間の連絡頻度や、共有する情報、信頼関係等がオレオレ詐欺等の被害防止と密接に関係しています。

オレオレ詐欺被害の9割以上が65歳以上の高齢者です。子や孫世代に当たる方は、自分から家族と頻りに連絡をとるなどして被害にあわないように注意してあげてください。

## ひらとみ神社で豊作祈願祭



8月29日(土)にひらとみ神社でさとうきび豊作祈願祭が行われました。新型コロナウイルス感染症の影響で、今年はひらとみ祭りは中止し、神事のみ実施。神社には村連合青年団を中心に、役場の課長たちや関係団体の代表が参加し、高千穂神社の黒木正和宮司が祈願を執り行いました。

連合青年団の藤村雄樹団長は「祭りが中止となり残念だったが、神事は一年の豊作を願う大切な行事であるため、サトウキビ発祥の地として祈願ができてよかった」とコメント。サトウキビの豊作を祈ると共に、来年のお祭りを楽しみに待ちましよう。

## 夏休みの大作！学童のシールアート



大和村の学童保育「大和っこクラブ」では、昨年夏休みの間に丸シールアートの作品を製作しています。これは文房具の丸シールをマス目に合わせて貼って絵を描くというもので、今回のテーマは「大和村の四季」。過去に広報誌の表紙になった写真4枚をシールで描いてくれました。制作は大和小、名音小、今里小から児童15人です。

8月24日から10月上旬まで、大和村防災センターの1階ロビーで展示しました。見学者からは「離れるほど鮮明に見える」「すごい！」など感心する声が聞かれました。

## 今里で豊年祭の祭事がありました



今里集落では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、今年は豊年祭を行わず、8月16日に祭事のみを行いました。

男トネヤで無病息災を祈願した後、体に炭を塗ったシタンを先頭に、力士の行列が神道を通り、公民館に入場。土俵の周りを回った後、前相撲と子どもたちの相撲が行われました。

今年は残念ながら豊年祭はできませんでしたが、集落内に響く「ヨイヤーヨイヤー」の声に季節を感じた方も多いのではないのでしょうか。来年の豊年祭の開催を楽しみにしています。

## 大漁！今里小が追い込み漁



8月2日、今里では家庭教育学級と子供会、学校を中心に企画した追い込み漁が行われました。

これは奄美の自然や文化のよさを生かした豊かな体験活動の充実を図ることを目的に、地元の海に詳しい安原助義さんと青壮年団の協力により実現。子どもたちは引き潮時のリーフの上に立ち、網に追い込まれていく魚を観察したり、網から外した魚のうろこ取りをしました。漁の後は、公民館でお刺身や焼き魚にして新鮮な海の幸を味わいました。森岡正蓬さん(2年)は「海で大きな魚を見てすごかった。焼き魚が美味しかった」と話してくれました。

## 園児が交通安全を呼びかけました



9月17日秋の全国交通安全運動の開始式が、大和村体育館前で行われました。今回は新型コロナウイルス感染症の対策のために各自治体に分散しての開催となり、大和村での開催は初めてです。

奄美警察署長は「今年度、人身事故はないが、36件のうち19件がお年寄りに関する事故。夕方の早めのライト点灯、トンネル内のライトの点灯を始めて事故を減らしていきたい」と挨拶。また、村内の園児が一日交通隊員として、ダンスを披露したり、交通ルールを呼びかけたりしました。9月の交通安全運動が終わっても安全運転を心がけましよう。

## 島外の学生を応援！支援金を交付



大和村では、新型コロナウイルス感染症の影響により、就学をあきらめることがないよう支援することを目的として1名につき5万円の島外就学学生支援金を支給しています。

9月9日に第一号として、福岡で就学している子どもがいる武原正人さんと、鹿児島で就学している子どもが2名いる仁規正俊さんに交付。武原さんは「こういった支援は大変ありがたい。子どもたちにも趣旨を伝え、家賃や交通費など有意義に使いたい」とコメント。教育委員会では、対象者への申請を呼びかけています。

## 練習の成果を発揮！小学生水泳選手権



第25回奄美小学校水泳選手権が、8月23日に奄美市笠利町のB&G海洋センタープールで行われました。

大和村の児童も大いに健闘し、男子では、福本旺太郎さん(大和)が4年生以下の自由形と背泳ぎ50m、個人メドレー200mの3種目で1位。また、バタフライ50mで南蒼空さん(大和)が3位と入賞。女子では、杉島希空さん(大和)が3年生以下の自由形25m2位、バタフライ25m2位、4年以下バタフライ50m3位と入賞しました。福本さんは「今大会はあまりいいタイムは出せなかったけど、賞状を3枚も貰えてうれしかった。僕と蒼空さんで下級生を引っ張って強いチームにしたいです。」とコメントしてくれました。

## 恒例の大棚小の稲刈り



8月21日、大棚小学校によるもち米の稲刈りが行われました。

大棚小学校では毎年、大棚老人クラブの協力を得て田植え、稲刈り、脱穀、餅作りを行っています。当日は天気も良く日差しも強かったですが、子どもたちは慣れた手つきで刈り取り、束に括られた稲を一輪車で干場へ運びました。

今年は稲の色づきが遅く米の数量も心配されましたが、それでも刈り取った稲の量は例年通り。美味しいお餅ができることを期待しています。



# どうくさむんがたり

大和診療所だより  
Vol. 30

## インフルエンザウィルス感染症

文/小川 信

そろそろインフルエンザが流行りだす季節ですね。今年は新型コロナウイルス感染症との区別で、少し大変な季節になるかもしれません。

インフルエンザの主な感染経路は、咳やくしゃみの際に口から発生される飛沫、または手指などの接触による感染です。症状は、発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛のほか、喉の痛み、鼻汁、咳等の症状も見られます。高齢者や免疫力の低下している方は、肺炎など重症化することがあります。いずれの特徴もコロナウィルス感染症とほぼ同じですよ。

インフルエンザを予防するために、流行前のワクチン接種が有効です。ワクチン接種を受けた高齢者は、死亡の危険が1/5に、入院の危険が約1/3から1/2にまで減少することが期待できると言われています。ワクチン接種による効果が発現するまでに2週間程度を要することから、早めに接種を終えることが望ましいです。ご不明な点は、診療所までお電話をください。



大和診療所 住所：〒894-3106 大和村大棚 420 電話：0997-57-2053 / E-mail：yamato-cln@vill.yamato.lg.jp

### 世界自然遺産をめざす 第21回 ワキヤシマのいきむんマンデー



特徴的なツルヒヨドリの葉  
撮影：環境省沖縄奄美自然環境事務所

そこで、大和村のみなさまにお願いです。写真のような植物を見つけたら、奄美野生生物保護センターまたは役場までご連絡ください。もし、見つけた場合は、個人では決して駆除作業を行わないでください。法律の禁止事項「生きたままの運搬」等にあたる可能性がありますし、駆除のやり方によっては逆に分布を広げてしまう可能性もあります。

奄美の豊かな自然を守るため、みなさまどうぞご協力をお願いいたします。



撮影：環境省沖縄奄美自然環境事務所

### 特定外来生物ツルヒヨドリ

文/奄美自然体験活動推進協議会 吉田明美

みなさま、ツルヒヨドリという植物を知っていますか。アメリカ大陸から入ってきたつる性植物です。在来植物だけではなく、農作物にも大きな被害を及ぼす可能性があることから、特定外来生物に指定されています。特定外来生物とは、栽培や生きたままの運搬などが法律で厳しく禁止されている生きもののことです。ちなみにマングースも特定外来生物です。

このツルヒヨドリは、分布を広げる勢いがすくなく、一度はびこると駆除が難しい植物です。奄美野生生物保護センターでは、島内で駆除作業を行っており、根瀬部～国直間の県道沿いで駆除作業を行ったこともあります。駆除を行う時期は、花をつける11月頃までが適切なので、今のうちに分布場所を見つけることが大切です。



大和村集落まるごと体験協議会の活動レポート  
日本一ゆっくりでかま  
ロングスリーイの村をあげて



9月末から新たに奄美大島在住者 先日、調理指導員の慣習でメニュー限定の「伊勢海老スペシャルディナー」開催を行い、宿泊事業者の方々に「キャンペーンの申し込みを開始しています。」  
これは、大和村の新しい観光コンテンツを開発しようという実証実験と、民泊などの宿はやりたくないけど食事を作るまで手が回らないという宿への支援策の検討という2つの目的で行っています。  
お申し込みは、まるごと大和村のホームページで受け付けています。期間は10月10日～11月7日の間の土曜日で、限定25組（一組6人まで）の抽選となります。  
「コロナ禍の中ですが、感染対策を徹底してメンバー一同臨んでいます。」

### 9～11月 運転にはゆとりを、生きものたちには思いやりを。 アマミノクロウサギ交通事故防止キャンペーン

毎年、多くのアマミノクロウサギが交通事故により死亡しています。特に大和村の主要道路である県道79号線は要注意道路で、実際に事故が多発しています。以下の点に注意して、アマミノクロウサギが交通事故にあわないよう安全運転をお願いいたします。

**🐰 夜間の運転は特に注意**  
アマミノクロウサギは夜に活動しています。夜間は特に注意しましょう。

**🐰 秋から冬にかけては事故が多発！**  
秋から冬にかけては繁殖期に入るため、特に活動的になり道路に出ることが多くなります。

**🐰 すぐに止まれるゆとりある運転を**  
アマミノクロウサギは道路上でじっとしているかと思えば、突然飛び出すことがあります。すぐに止まれるスピードで運転をお願いします。

ケガをしている、死んでいるアマミノクロウサギを発見したらお電話下さい！  
環境省奄美野生生物保護センター 電話：55-8620



**動植物の捕獲・採取についての注意**  
奄美大島には希少な動植物がたくさん生息・生育しています。これらの種を守るために法律や条例で厳しい規制がかかっている場合があります。規制されるエリアと動植物の詳細についてはQRコードにアクセスしてみましょう！



# お知らせ

ポイント券の利用可能な店舗が増えました

## ●保健福祉課より

☎0997・57・2218

大和村では、40歳以上で一定の条件を満たしている方を対象にポイント券を発行しております。平成31年4月からポイント券をご利用いただける加盟店が増えましたので、お知らせいたします。ぜひ、ご利用ください。

国直【アイクルオート】

■担当：保健福祉課 里・田中

## 大和消防分駐所から

119番通報徹底のお願い

## ●大島地区消防組合大和消防分駐所

☎0997・57・2219

近年、大和村管内の火災・救急件数はともに大幅な変化などはありません。これは村民一人一人の健康意識・防火意識の高さの表れだと思います。引き続きご協力をお願いします。

## 行政相談員に相談してみませんか

### ●総務課より

☎0997・57・2111

毎日の暮らしのなかで、登記・年金、道路、社会福祉など行政に関する困りごとや要望などはありませんか？

総務大臣委嘱の行政相談委員が皆様の相談相手として、役場のサービスや行政の仕組み、手続きに関する相談を受け付け、相談者への助言や関係行政機関に対する申し入れを行っています。次のとおり、行政相談所を開設しますので、お気軽にご利用ください。

また、自宅や電話でも相談に応じています。相談は無料で、相談内容は他人に漏れることはありません。

相談所開設日：10月20日（火）

開設時間：9時～12時

場所 大和浜公民館

問合せ先 行政相談員 森貞義

電話0997・57・2644



行政相談員 森貞義さん

さて最近、大島地区管内で分駐所に直接電話をして救急車・消防車を要請することが増加傾向にあります。分駐所に直接電話した場合、出動する前に状況・住所・応急手当の指導など行った後に出勤となり、現場に到着する時間が大幅に遅れる可能性があります。

119番通報をした場合、通報した時点で、通信指令室から大和消防へ出動指示とGPS機能で要請場所が送られてきます。したがって出勤中に通報内容・状況を聴取して現場へ向かうことが可能です。

**1分1秒でも早く到着するため分駐所ではなく、119番通報の徹底をよろしくお願いいたします。**

また、救命率向上を目的に消防隊が救急隊の活動を支援する「PA連携」を運用しています。火災に限らず、救急現場に消防車が来ることあると理解して頂きたいと思います。

大和消防分駐所への問い合わせ・野外焼却の届け出等は、引き続き大和消防分駐所へお問い合わせください。

## 「借金・債務整理に関する無料法律相談会」のご案内

・相談は個別面接で、相談時間は30分程度です。

・弁護士または司法書士による法律相談です。

・保健師などによる

「こころの悩み相談」

も受け付けます。

・原則として、事前の予約をお願いします。

※当日会場での受付も可能ですが、お待ちいただく場合があります。

※新型コロナウイルス感染防止のため相談の際は、マスクの着用をお願いします。

日時：11月12日（木）午後1時から午後4時まで

場所：奄美文化センター

【予約・お問合せ先】 鹿児島県多重債務・ヤミ金融等対策協議会事務局／鹿児島県男女共同参画局消費

者行政推進室

電話099・286・2533



## 大和の園

会計年度職員募集について

## ●大和の園（園長 勝 健一郎）

☎0997・57・3316

現在、大和村立特別養護老人ホーム大和の園では、次の職種の会計年度任用職員を募集しています。

### 【職種】

介護職員、調理員

【資格・年齢】

不問

【仕事の内容】

施設において、利用者様の生活全般を支えるお仕事です。

【就業場所の住所】

大和村戸円1903番地

【就業時間】

変形労働時間制（シフト制）です。

介護士

早番① 7時～15時30分

早番② 7時30分～16時

普通 8時30分～17時

遅番 10時30分～19時

夜勤 17時～翌9時

調理員

早番 5時30分～14時

普通 9時～17時30分

遅番 10時30分～19時

\*詳細につきましては、大和の園までお問い合わせください。



## 名瀬公証人役場からお知らせ

近年、遺産相続をめぐる争いや金銭、老後の財産管理をめぐるトラブルが増加しています。

遺産や養育費の支払い、金銭消費貸借、土地・建物の賃貸借契約、任意貢献契約など、公正証書を作成することによりこれらの紛争を未然に防止し、あなたの財産や権利を守るができます。

**遺言や各種契約書は公正証書で作成しましょう**

10月1日から7日は公証習慣です。習慣中は土日の相談（無料）も受け付けます。相談を希望の場合はご予約をお願いします。

### 【お問合せ先】

名瀬公証人役場

電話0997・52・2661

※住所が移転しました。

旧住所：奄美市名瀬幸町12・22泉

二ビル2階

← 新住所：鹿児島県奄美市名瀬

小浜町4番28号A1Sビル4階

## 無料法律相談のご案内 （奄美法律センター）

奄美市と鹿児島県弁護士会が共同で開催しており、大和村民も無料で相談することができます。

※時間は30分です。（事前に相談内容をまとめておくと効率的です。同じ人が続けてお申込みされることはご遠慮いただいています。）

月	日	担当弁護士名	午前	午後
10	8	管野 浩平	—	13:00～16:30
	15	和田 知彦	9:30～11:30	—
	22	満川 慎二	11:00～12:00	13:00～15:30
11	12	大倉 克大	—	13:00～16:30
	19	池田 征弘	9:30～11:30	—
	26	増山 洋平	11:00～12:00	13:00～15:30

【予約】 奄美市役所市民協働推進課 電話0997-52-1111

【お問い合わせ】 大和村役場住民税務課 電話0997-57-2127

## ～県の交通事故相談所～

【島内での開催】

10月26日（月）午後1時30分から午後4時

10月27日（火）午前9時から正午

場所 大島支庁会議室

【申し込み方法】

実施の2日前までに予約して下さい。予約は県交通事故相談所までご連絡ください。

問合せ 099-286-2526

## 大和村地域商品券は ご利用になりましたか？

利用期限は令和2年12月31日です。

まだ受け取られていない方は、平日8時半から17時15分までに防災センター2階の企画観光課へお越しください。



父 健さん  
母 裕莉明さん(思勝)  
保護者からのコメント  
「これからもたくさん食べて元気に育ってね」

ひおり  
野間白桜莉さん



りな  
脇田莉菜さん

父 立樹さん  
母 恵子さん(大和浜)

保護者からのコメント  
「人見知りの激しい白桜莉をいつも可愛がってくださってありがとうございます。今後も親子共々よろしくお祈りします。」



満1歳おめでとう

野生動物の交通事故防止のため、アマミノクロウサギ輪禍件数を掲載しています。



アマミノクロウサギ事故件数  
今年25件  
不明・その他 37件

2020年9月3日現在

事故をおこさないために  
・夜間は特にゆっくり運転すること  
・県道や国道でも動物が出てくる可能性があるので運転すること  
死体を見つけたらセンターに連絡して下さい。  
野生生物保護センター 55-8620

合同会社ひらとみ

置いてほしい商品を教えて下さい!

黒糖焼酎ひらとみ等、酒類も入荷中

営業時間：平日 8:30 ~ 17:15

電話：0997-57-2600 住所：大和村大和浜

広報やまとラジオ便 77.7MHz 放映中  
リスントゥーミーひらとみ  
あまみFMディ！  
月～土曜日 9:00 ~ / 14:30 ~

神奈川県大和市の FM YAMATO で  
「大和村の教えてシマッチュ！」を放送中  
毎月最終土曜日 11:20 ~ 11:30 (再放送は翌水曜日の 7:15 ~)  
奄美では JCBA インターネットサイマルラジオで聞くことができます。

こせきの窓

人口 1441人 (△33)  
男 715人 (△2)  
女 726人 (△31)  
世帯 862世帯 (△13)  
8月31日現在  
(前年同月比)

お誕生おめでとう！お祝い申し上げます  
村田 環空さん  
(保護者 丈尚・綾子 / 大和浜)  
お悔やみ申し上げます  
和泉 由子様 (59歳・思勝)  
福永 イクエ様 (92歳・今里)  
神田 直子様 (88歳・大和浜)  
香典返し(社会福祉協議会へ)  
和泉松雄様(故和泉由子様)  
福永則雄様(故福永イクエ様)  
神田雄一様(故神田直子様)  
ふるさと納税  
ありがとうございます  
原田 朋和様(福岡県)  
粟根 尚子様(神奈川県)  
田畑 悦郎様(鹿児島県)  
宮園 聖様(鹿児島県)  
榎木 いずみ様(東京都)  
松山 康二様(兵庫県)  
東 秀広様(大阪府)

大和村長のフォトダイアリー



大和村役場庁舎の改修工事の視察に参りました。昭和47年の完成以来、村民の皆様の利用を始め、役場職員の先輩たちが村の発展のために業務に取り組んだ場所ではありますが、耐震基準を満たしていないことから改修をすることとなりました。これまで、新しく庁舎を建設するために高台などへの移転等や用地の確保などを総合的に検討してきましたが、新庁舎建設は、難しい状況と判断し現在の庁舎を改修することとなりました。

改修内容は、庁舎の中央部を鋼材で補強することや、庁舎の廊下を駐車場側へ拡張するなど個人の住宅をリフォームするようなイメージです。年内完成を目指しておりますが、庁舎内への通信施設の整備や備品等の設置などがあるため、業務が始められるのは年明けになる予定です。一新した庁舎を楽しみにお待ちしております。

写真と共に村長の活動を報告いたします。

子どもや孫、さらにその先の島人へ、美しい世界をのこすために！

エスディーズ

わんきゃのSDGs っちば

SDGsは、英語で「持続可能な開発目標」の略称です。これは深刻化する環境問題や経済・社会問題に対して、世界を変えるために「地球上の誰一人として取り残さない」ことを理念として設定された、2030年までに達成すべき17の国際目標です。



14. 平和と公正をすべての人に

世界では様々な理由により各地で紛争が起こっています。多くの場合、暴力の犠牲になるのは女性や子どもなど社会的に弱い立場の人たちで、2019年は難民や避難民が過去最多を記録しています。また、日本では児童虐待が年々増えており、DVも増加。また全世界での殺人犠牲者が50万人を超えています。戦争や紛争以上に人が亡くなっています。世界中にあふれている暴力をなくすためには、法の支配を強化し、人権を尊重し、透明性の高い効率的な行政機関を作り上げること、効果的で説明責任のある包摂的な(誰も置き去りにしない)制度の構築が大事となります。

わんきゃに てけえりゅんくうや めーかいや? 私たちにできることは何でしょう

- ・家庭内の暴力から国際紛争まで、すべての形態の暴力とその死亡率を減少、撲滅しよう
- ・情報に踊らされていない? 宗教、民族、人種、性別への差別をなくそう
- ・公正な社会を作っていくためには積極的に政治に関わることが大切、選挙に行こう
- ・戦争とは? 兵隊とは? 難民とは? 世界的な問題について興味をもってみよう
- ・戦争の悲惨さを語り継ごう、今も紛争下にいる子どもたちの気持ちを想像してみよう
- ・難民支援、子ども教育支援、女性支援……気になる問題に100円でも寄付してみよう



出典：環境省、政府広報オンライン、国際開発センター、WWF、MSC (海洋管理協議会)

## 図書室おすすめの本

本は心の栄養です。  
本を読もう



### ●一般書 奄美ほこらしや

和 真一郎 著／南方新社

奄美に生まれ、奄美に育った和 真一郎。高校教師としてあらゆる差別と厳しく向き合ってきた氏は、2002年6月3日に逝去した。その後には膨大な遺稿が残されていた。すべての子どもたちが差別から解放されることを願って本書は編纂された。

「奄美の文化と島差別」ほか同和教育講演記録集、南海日日新聞連載の「つむぎ随筆」「鹿児島から」「枕流記」、また脚本「解放に向かう奄美のほこらしや」、その他論文などを収録。



### ●一般書 世界一美味しい手抜きごはん 最速！やる気のいらない100レシピ

はらぺこグリズリー 著／株式会社 KADOKAWA

第6回料理レシピ本大賞の大賞を受賞したレシピ本です。めんどろなことはしたくない、でも美味しいものが食べたい、この願望を叶えます。料理をしたことがない、料理はあまり得意ではない、春からはじめて一人暮らしをする、そんな方にもおすすめの1冊です。

### ●一般書 感染症の世界史

石弘之 著／株式会社 KADOKAWA

医学や公衆衛生の発達した現代においても、日本では毎冬インフルエンザが流行し、世界ではエボラ出血熱やデング熱が人類の生命を脅かしている。人が病気と必死に戦うように、彼らもまた薬剤に対する耐性を獲得し、強い毒性を持つなど進化を遂げてきたのだ。40億年の地球環境史の視点から、人類と対峙し続ける感染症の正体を探る。



### ●一般書 写真でつづるアマミノクロウサギの暮らしぶり

勝 廣光 写真・文／南方新社

奄美の奥深い森に棲み、また夜行性のため、謎に包まれていたアマミノクロウサギの暮らしぶり。本書は、繁殖、乳ねだり、授乳、父ウサギの育児参加、放尿、マーキング、鳴き声発しなど、著者が世界で初めて撮影に成功した写真の数々で構成する。



個人事業主、会社経営者、商業希望の皆さまへ 大和村／鹿児島県よろず支援拠点 合同

# 大和村 定期相談会

相談  
無料

売上げ拡大・経営改善・商品開発など経営上の様々なお悩みの解決をお手伝いします！

ぜひこの機会に皆さま方の課題解決にお役立て下さい。

日時：毎月第3火曜日 13:30～16:30

場所：大和村防災センター内 会議室

主催：大和村／(公財) かごしま産業支援センター鹿児島よろず支援拠点

ご利用は何度でも  
徹底的にサポート

予約申し込み・お問合せは企画観光課まで 0997-57-2117 (担当：和泉)



←バーコード読み取り機能付き携帯電話をご利用の方はここから大和村ホームページへ簡単にアクセスできます。それ以外の方は直接 URL を入力してアクセスしてください。  
(<http://www.vill.yamato.lg.jp>)

発行・編集 大和村役場企画観光課  
〒894-3192 鹿児島県大島郡大和村大和浜 100 番地  
TEL 0997-57-2111 FAX 0997-57-2161  
mail:kikaku@vill.yamato.lg.jp  
<http://www.vill.yamato.lg.jp>